

## 住之江区の小・中学校

担当の森本です！  
住之江区には、15の小学校と7つの中学校があり、各校のホームページは下記QRコードからご覧いただけます！

小学校のホームページ

中学校のホームページ

少子化による課題とは？

**区長** 教育現場にはいろんな課題があると思いますが、今、皆さんの学校での一番大きな課題はなんですか？

**高島校長** 少子化に伴い生徒数が少なくなっています。こうしたことから小中一貫校になるのですが、子どもたちの人数が多ければ、例えばクラブ活動の種類が増えるなど、子どもたちの活動の幅が広がります。それに、教員の数も増えるので、いろんな出会いがありますね。子どもたちに様々な経験をさせてあげたいと思っています。

**区長** 選択肢が多いことや、たくさんの方と切磋琢磨できることは教育現場として魅力的ですね。

小中一貫校のメリットって？

**区長** 小中一貫校になるメリットは何ですか？

**谷校長** 平成28年度から南港南中学校の先生が南港緑小学校や南港渚小学校と兼務になり、小学校の授業に入ってくれるようになりました。その時は子どもたちの顔が普段とは違いますね。先生や授業内容への興味から目がキラキラしています。それに、小学校卒業後に進学する中学校の先生が、小学校の時から子どもたちのことを知っているというのは、子どもたちにとっても、保護者の方々や教員にとっても、安心に繋がることだと思います。

**吉岡校長** そつやつて小学校と中学校が連携することを、私たちが大

## 校長対談 咲洲みなみ小中一貫校

(平成30年4月開講予定) にかける思い



吉岡校長 南港緑小学校  
高島校長 南港南中学校



谷校長 南港渚小学校  
西原区長

平成30年4月に施設一体型の小中一貫校「咲洲みなみ小中一貫校」になる、南港緑小学校・南港渚小学校・南港南中学校の3校の校長先生方に、学校教育にかける熱い思いを語っていただきました。

人が積極的にはしてこなかった部分があるんです。平成28年度の1年をかけて連携してきて、教員の考え方が変わってきました。教員にとつてはお互い勉強になりますし、なにより、子どもたちや保護者の皆様の安心に繋がると思っています。

「イマドキ」な教育事情

**区長** 今、学校ではタブレットなどのICT機器や小学校での外国語活動の導入など、学習内容が変化していますよね。このことに関してはどう感じられていますか？

**谷校長** 子どもたちにICT機器を渡すと、教員が教えなくてもなんぼでも触ります。子どもたちの興味を引き出しながうまく活用していきたいです。

**区長** 保護者の方々の中には子どもたちがICT機器を学習以外の目的で使用しないか心配される方もいると思いますが、

**高島校長** 導入されているICT機器は、子どもたちが自由にアクセスできないよう制限が設けられているので、その心配はありません。**区長** それは安心ですね。ただ、ICTって、調べたらすぐに答えが出るじゃないですか。ICTの活用によって、「答えは知っているけどなぜこの答えになるのかわからない」というような事態が増えないか、少し心配です。

**高島校長** そこでプログラミング教育です。プログラミングは、「どういう入力すればロボットに自分のイメージどおりの動きをさせられるか」ということを考えなければ

なりませんので、まさに過程を大切にしたい教育です。咲洲みなみ小中一貫校では、力を入れて取り組みたいと考えています。

**谷校長** 教員があれこれと細かく指示をしたら当然、みんな同じ結果になる。失敗したときに、子どもたちが「なんでやろう」と考えることが大切で、それができる場を作るのが我々教員だと思っています。

**吉岡校長** ICT機器についても、それらを活用する目的やタイミングを意識して使っていきたいですね。

**区長** より多くの友人たちと切磋琢磨できること、小・中学校の先生がより強く連携できること、特色ある教育内容があることなど、小中一貫校の良いところをたくさんイメージできました。中でも、いろんな友人や先生と出会えることは素敵なことだと思いますね。いい出会いは一生ものです。区としても、子どもたちにはいろんなものや人に触れる機会を提供し続けていきたいと思っています。本日はありがとうございました。



咲洲みなみ小中一貫校の制服